



結核菌

コード	検査項目 JLAC10コード	検体	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	備考	異常を示す主な疾患
6013	抗酸菌塗抹鏡検 蛍光染色法 6A206-0000-000-718	各種検体	100・101ページ 参照		1~2	50+32 (加算) 微生物	集菌塗抹法 蛍光染色		
6012	抗酸菌塗抹鏡検 6A205-0000-000-717	各種検体	100・101ページ 参照		1~2	61 微生物	チールネルゼン染色		
6102	抗酸菌培養 (酸素感受性蛍光センサー法) 6B305-0000-000-747	各種検体	100・101ページ 参照		~6週	280 微生物	MGIT培地		
6101	抗酸菌培養 6B305-0000-000-746				~8週	204 微生物	小川培地		
	抗酸菌感受性検査 6C105-0000-000-781				8週~	4薬剤以上 380 微生物	一濃度比率法	101ページ参照 (PZAはMGIT法)	
6121	抗酸菌群核酸同定(DDH)	各種検体	100・101ページ 参照		8週~	410 微生物	マイクロプレートハイ ブリダイゼーション法	培養検査に続いて本法を実施し 抗酸菌の同定を行います。	
6613	結核菌群核酸同定(PCR) 6B620-0000-061-862	喀痰1mL以上	33	冷蔵	2~3	410 微生物	PCR法	直接検出法	【陽性】抗酸菌症(結核性)
6614	抗酸菌核酸同定(PCR) (マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー) 6B621-0000-061-862					421 微生物			【陽性】抗酸菌症(結核性)
2840	予約検査 結核菌特異的IFN- γ 産生能 (クオンティフェロンTB)(QFT) 5E301-0000-019-023	ヘパリン血液 6mL (ヘパリン-リチウム)	68	血液 冷蔵 (2~8℃)	4~6	612 免疫	ELISA	予約検査 採血後、規定時間内(48時間以内)に 検査を実施する必要があります。 受託可能日:月~金(日・祝前日は受託不可)	【陽性】結核 【判定不可】HIV感染・悪性腫瘍 腎不全・免疫抑制剤治療者など
2972	予約検査 T-SPOT (インターフェロン- γ 遊離試験) 5E301-0000-019-031	ヘパリン血液 9mL (ヘパリン-Na)	85	血液 室温	4~5		ELISPOT	予約検査 採血後、規定時間内(32時間以内)に 検査を実施する必要があります。 受託可能日:月~金(日・祝前日は受託不可)	【陽性】結核 【判定不可】HIV感染・悪性腫瘍 腎不全・免疫抑制剤治療者など

※抗酸菌分離培養検査は、検体の採取部位が異なる場合であっても、同時に又は一連として検体を採取した場合は、1回のみ所定点数を算定する。

※抗酸菌分離培養検査は、結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。

※抗酸菌薬剤感受性検査は、直接法、間接法等の方法及び培地数にかかわらず、感受性検査を行った薬剤が4種類以上の場合に限り算定する。

混合薬剤耐性検査においても、使われた薬剤が4種類以上の場合に限り算定する。

※マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸検出は、他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合にのみ算定できる。

なお、抗酸菌同定検査と併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。

※結核菌群核酸検出は、結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。

※抗酸菌核酸同定は、結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。

※結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。